

# 日本中、世界中へ「ウタのチカラ」を届ける700名のsingers 寺尾仁志 with human note

アフリカケニアと日本の3ヶ所で同時にコンサートをします  
ケニアの文化に触れ 実際にケニアの子ども達と繋がりませんか？  
ウタのチカラで世界とつながる体験を是非一緒に楽しみましょう！



## 寺尾仁志 プロフィール

2000年日本で初めてメジャーデビューしたゴスペルクワイアでリードボーカルを務める。  
2002年より33歳でシンガーソングライターとしてソロ活動を始め、現在までに4枚のアルバムをリリース。

2008年、ユニバーサルレコードのカバーコンピレーションアルバム『Really Together』のゲストシンガーを務める。  
またアメリカグラミー賞受賞者のゴスペル界の二大女性シンガーCCワイルド、ヨランダ アダムスと共演を果たす。

98年からゴスペル講師としての指導も開始。  
現在47チームをディレクションし、指導する人数は700名を超える。指導をしていく中で、歌の持つ力、また聖歌隊というスタイルで、さらに歌の持つ力の可能性を確信し、自身が人生の中で常に訪まされてきた「歌の持つ力」をより多くの人と共有する事をミッションとして日々歌い続けている。



## human note プロフィール

2007年結成。関西を中心に活動するシンガーソングライター  
寺尾仁志がディレクションする約700名のsingers。

2008年、大阪府教育委員会からの依頼を受け、「こころの再生市民運動」テーマソング『みんなトモダチ』をレコーディング。大阪府の幼・小・中・高2500校にCDが配布され、それに伴い2009年1月から「学校めぐり」と称し、多くの学校及びデイケアセンター、子育てサロンを訪問する。その活動は国内にとどまらず、海外にまで広がりをみせ、2009年11月にはケニアを訪問。その後、インドネシアバリ島・ハイチへの訪問を果たし、2012年10月には4日目のケニア訪問を予定している。

また、楽曲は河口恭吾、平隆隆などの日本のトップアーティストと制作を行い、ゴスペルをベースとしたクワイア（聖歌隊）スタイルで年齢、性別、職業を越えたメンバーと共に世界中にウタのタネをまいている。  
また、病気とたたかっている方と作る病院でのコンサートや院内学級の子ども達との交流や、宮城島南三陸町を中心とした東日本への支援活動にも力を入れている。



## 長谷川幸子 プロフィール

2006年に初めてケニアへ。

3か月間のインターンシップ経験を通してケニアのことが大好きになり、いつかまた戻ってきたいと願うようになる。

2007年より3年間、京都府小学校教員として勤務した後、2010年6月に青年海外協力隊として再びケニアを訪問。ナイロビから南西へ車で2時間ほど走ったところにあるマサイ族の町「チロコ」へ赴任した。  
深刻な森林破壊が進む地域の小学校における苗木圃の管理や、地域住民への啓発活動などに従事する中、歌を通して森林保全を訴える女性グループに出会う。彼女達の活動にヒントを得て、小学校で環境歌謡隊を結成し、イベントなどで歌を披露する活動を始めた。

そのほか、学校の壁に子ども達と一緒に描く「環境壁画」など、感性に訴える楽しい環境教育を目指して活動を続けた。

2012年3月帰国後は、京都府小学校教員として可愛く元気な5年生の担任をしている。